

漢字音読名人

《 6 年 》

國	語	算	數	理	科	社	會
圖	工	音	學	體	育	給	食

Ⅰ 学期

名前	
----	--

光村配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏のページは、友達との聞き合いに使います。
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

- ・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
- ・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

- ・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。
- ・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。
- ・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

1

シイネ和初祖視

視

視力・視察・視聴率

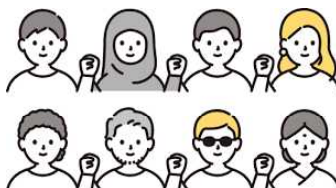
「視」は「よく見つめる」



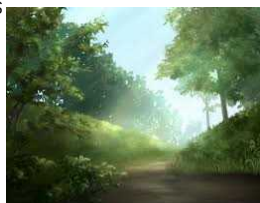
□ 人々のつながりを

重視する。

□ 霧が晴れて視界が開けた。



□ 視点を改めて考え直す。



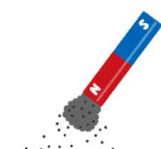
2

一アエ石石石砂

砂

砂鉄は

砂の中に混じっている鉄



□ 運動場に舞う砂ぼこり。

□ 砂漠を吹き過ぎていく風。

□ 台風で土砂崩れが起きた。



3

月月肝肝脂脂腹腹

腹

あいたたた

腹が痛いな 腹痛だ



□ 腹が減っては戦はできぬ。

□ 腹八分目に医者いらず。

□ 空腹なので何か食べたい。



1

サイン

視

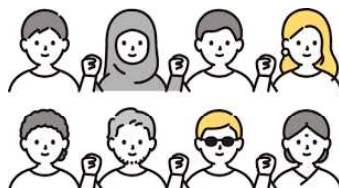
視力・視察・視聴率^{ちよう}

「視」は「よく見つめる」

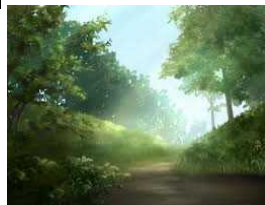


□人々のつながりを

重視する。



□霧^{きり}が晴れて視界が開けた。



□視点を^し変えて考え直^なす。



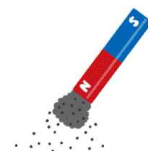
2

サイン

砂

砂鉄は

砂の中に混じっている鉄



□運動場に舞う砂ぼこり。



□砂漠^{ばく}を吹き過^ふぎていく風。



□台風で土砂崩れ^{くず}が起きた。



3

サイン

腹

あいたたた

腹が痛いな 腹痛だ



□腹が減っては戦はできぬ。



□腹八分目に医者いらす。



□空腹なので何か食べたい。



4

、イ フ 非 自 然 段 段

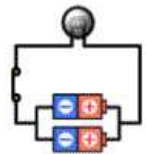
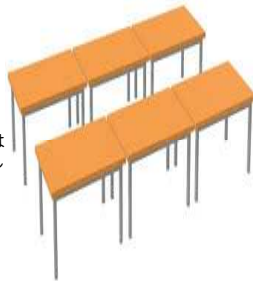
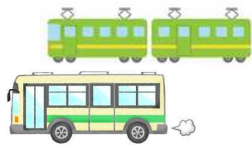
段

山の斜面
やまのしゃめん階段のように耕す段々畑
かいだんのようにたがやだんだんばたけ□ 仕事^{しごと}が一段落^{いちだんらく}し、休憩^{きゅうけい}する。□ 目的^{もくてき}のためには手段^{しゅえん}を選^{えら}ばない。□ 安い値段^{やすいねだん}で原料^{げんりよう}を買^かう。

5

、ソ ム ヤ 井 井 井 井

並

並列^{へいれつ}に電池^{でんち}を並^{なら}べ豆電球^{まめでんきゅう}を点灯^{てんとう}させる□ 会議^{かいぎ}のため^{ため}に机^{つくえ}を並^{なら}べる。□ 電車^{でんしゃ}と並行^{へいこう}してバス^{はし}が走る。□ 黄色^{きいろ}くな^なったイチヨウ^{なみき}の並木^{なみき}。

6

、ア フ フ フ フ 降 降 降 降

降

電車^{でんしゃ}を降^おりたら雨^{あめ}が降^ふっていた□ 雪^{ゆき}が降^ふって辺^{あた}りは一面銀^{いちめんぎん}世界^{せかい}。□ 飛行機^{ひこうき}が急降^{きゅうこう}下^かする。□ 昇降口^{しょうこうぐち}に下駄箱^{げたばこ}がある。

4

サイン

段

山の斜面



階段のように耕す段々畑

□ 仕事が一段落し、休憩する。



□ 目的のためには手段を選ばない。



□ 安い値段で原料を買う。



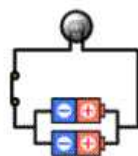
5

サイン

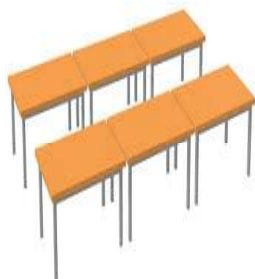
並

並列に電池を並べ

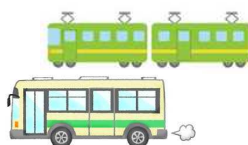
豆電球を点灯させる



□ 会議のために机を並べる。



□ 電車と並行してバスが走る。



□ 黄色くなったイチヨウの並木。



6

サイン

降

電車を降りたら

雨が降っていた



□ 雪が降って辺りは一面銀世界。



□ 飛行機が急降下する。



□ 昇降口に下駄箱がある。



認

「認可」とは

願いを認めて許すこと



□ 過ちを正直に認める。

□ 手順を確認して仕事にかかる。

□ 現状を正確に認識する。



洗

汚れた衣類

洗う機械が洗濯機



□ 顔を洗って朝ご飯を食べた。

□ 食事の後、洗面所で歯を磨く。

□ 昔は水洗トイレが無かった。



異

常と異なる

普通でないことだから「異常」



□ 人によって見方が異なる。

□ 食品の中に異物が混入した。

□ 健康だった体に異変が起きた。



7

サイン

認

「認可」とは

願いを認めて許すこと


☐ 過ちを正直に認める。

☐ 手順を確認して仕事にかかる。

☐ 現状を正確に認識する。


8

サイン

洗

汚れた衣類

洗う機械が洗濯機


☐ 顔を洗って朝ご飯を食べた。

☐ 食事の後、洗面所で歯を磨く。

☐ 昔は水洗トイレが無かった。


9

サイン

異

常と異なる

普通でないことだから「異常」


☐ 人によって見方が異なる。

☐ 食品の中に異物が混入した。

☐ 健康だった体に異変が起きた。


10

くま系系純純

純

純金・純白「純」は

「混じり気が無い」という意味



□ 幼児は純真な心の持ち主だ。



□ 単純明快な説明でよく分かる。



□ 純白のドレスを着た花嫁。



11

ハイ身身身射射

射

射程距離に

入った獲物を矢で射る



□ 矢で的を射る。



□ インフルエンザの予防注射。



□ 直射日光が反射してまぶしい。



12

ニシメ北北背背

背

背中から

バーを跳び越す背面跳び



□ ランドセルを背中に背負う。



□ 海を背景にして写真を撮る。



□ 背後に敵が迫っている。



10

サイン

純

純金・純白「純」は

「混じり気が無い」という意味

□ 幼児は純真な心の持ち主だ。□ 単純明快な説明でよく分かる。□ 純白のドレスを着た花嫁^{よめ}。

11

サイン

射射程距離^{きょり}に入った獲物^えを矢で射る□ 矢^やで的^{てき}を射る。□ インフルエンザの予防注射。□ 直射日光が反射してまぶしい。

12

サイン

背

背中から

バー^とを跳び越^こす背面跳^とび□ ランドセルを背^そ中に背負^そう。□ 海^{うみ}を背景^{はいけい}にして写^{しゃ}真^{しん}を写^{しゃ}す。□ 背^そ後に敵^{てき}が迫^{せま}っている。

13

お拾捨

捨

四よん以下いは捨すて 五ご以上いじようは
切きり上あげるから四捨五入ししやごにゆう

32,718 人

↓ 四捨五入

30,000 人

□ 捨すてられたゴミを拾ひろう。



□ 使つかい捨すてのマスキを使用しよう。



□ 必要ひつような物ものを取捨選しゅせん択たくする。



14

ハニキ舌

舌

舌したがよまわく回まわることを
滑かつぜつ舌つが良よいという



□ 失しつぱい敗ぱいし、思おもわだず舌したをだす。



□ 見み事ごとな演えん技ぎに舌したを卷まく。



□ 毒どく舌ぜつをひようろんかふるう評ひようろんか論ろんか家か。



15

ハニキ乱

乱

乱らん雑ざつな使つかい方かたをみだして
部へ屋やが乱みだれる



□ 台たいふう風ふうで列れつ車しゃのダイヤが乱みだれた。



□ 乱らんぼう暴ぼうな言こと葉ばは使つかわない。



□ 火か事じで辺あたりは火たいこんらん混こん乱らんになる。



捨

四以下は捨て 五以上は
切り上げるから四捨五入

32,718 人
↓ 四捨五入
30,000 人

□ 捨てられたゴミを拾う。



□ 使い捨てのマスクを使用。



□ 必要な物を取捨選択する。



舌

舌がよく回ることを
滑舌かつが良いという



□ 失敗し、思わず舌を出す。



□ 見事な演技に舌を巻く。



□ 毒舌をふるう評論家。



乱

乱雑な使い方をして
部屋が乱れる



□ 台風で列車のダイヤが乱れた。



□ 乱暴な言葉は使わない。



□ 火事で辺りは大混乱になる。



域

「**区切り**の中」という意味



□利根川の流域に広がる平野。



□星のことは天文学の領域だ。



私の学校の通学区は広い。



誌

「誌」は「記録」という意味だ



□ 当番なので学級日誌を書いた。



□月刊誌を購入している。



□ 雑誌の付録が楽しみだ。



映

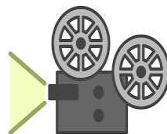
映像をスクリーンに
映すから「映画」



□ 鏡に映す自分の顔。



□映画を上映する機械が映写機。



□4Kテレビの映像は鮮明だ。



16

サイン

域

音域・地域「域」は

「区切りの中」という意味



□利根川の流域に広がる平野。



□星のことは天文学の領域だ。



□私の学校の通学区域は広い。



17

サイン

誌

雑誌・日誌・週刊誌

「誌」は「記録」という意味だ



□当番なので学級日誌を書いた。



□月刊誌を購入している。



□雑誌の付録が楽しみだ。



18

サイン

映

映像をスクリーンに

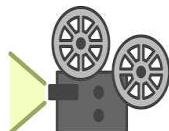
映すから「映画」



□鏡に映す自分の顔。



□映画を上映する機械が映写機。



□4Kテレビの映像は鮮明だ。



拡

かくせいき
拡声器

こえ かくだい
声を拡大する道具



かふん けんびきよう
花粉を顕微鏡で拡大して見る。



どうろ かくちよう
道路を拡張する工事。



たいきちゆう ゆうがいぶっしつ
大気中に有害物質が拡散する。

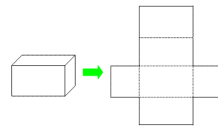
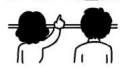


展

てんかいず てんらんかい
展開図・展覧会

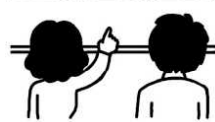
てん ひろ なら
「展」は「広げて並べる」こと

てん じん
作品展



なつやす さくひん てんじ
夏休みの作品を展示する。

てん じん
作品展



てんぼうだい とお けしき
展望台から遠くの景色を見る。



こうべ みなとまち はってん
神戸は港町として発展した。



蔵

くら なか
蔵の中

ひぞう たからもの
秘蔵していた宝物



じぞうさま だんご
お地蔵様にお団子を供える。



れいぞうこ やさい ちよぞう
冷蔵庫に野菜を貯蔵しておく。



たよう しりよう しょぞう
多様な資料を所蔵する図書館。



19

サイン

拡

拡声器

声を拡大する道具



□花粉を顕微鏡で拡大して見る。



□道路を拡張する工事。



□大気中に有害物質が拡散する。



20

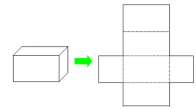
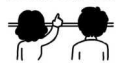
サイン

展

展開図・展覧会

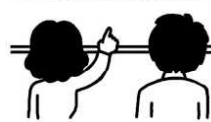
「展」は「広げて並べる」こと

作品展



□夏休みの作品を展示する。

作品展



□展望台から遠くの景色を見る。



□神戸は港町として発展した。



21

サイン

蔵

蔵の中

秘蔵していた宝物



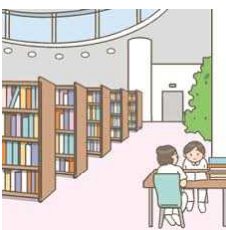
□お地蔵様にお団子を供える。



□冷蔵庫に野菜を貯蔵しておく。



□多様な資料を所蔵する図書館。



訪

だいとうりよう
大統領が訪日し
げんばくしりようかん
原爆資料館を訪れた



はる
春の訪れを告げる鶯。
うぐいす



てんこう
転校した友の家を訪ねてみた。



かていほうもん
家庭訪問で担任の先生が来る。



我

われ
我を忘れる・「我を通す」
われ
「我」は「自分」という意味だ



ゆめ
夢から覚め、我に返る。



われわれ
我々の要求が認められた。



がまん
我慢がでさず、だだをこねる子。



承

けん
「その件、確かに
うけたまわ
承りました。」と承諾した



きみ
君の頼みについては承知した。



ふる
古くから伝承されてきた民話。



こっかい
国会で予算案が承認された。



訪

大統領が訪日し

原爆資料館を訪れた



□春の訪れを告げる鶯。
うぐいす



□転校した友の家を訪ねてみた。



□家庭訪問で担任の先生が来る。



我

「我を忘れる」・「我を通す」

「我」は「自分」という意味だ



□夢から覚め、我に戻る。



□我々の要求が認められた。



□我慢ができず、だだをこねる子。



承

「その件、確かに

承りました。」と承諾した



□君の頼みについては承知した。



□古くから伝承されてきた民話。



□国会で予算案が承認された。



蒸

もち米を

蒸気で蒸してお餅つき



□ 水が蒸発して気体になった。



□ 混じり気の無い水が蒸留水。



□ 蒸気機関車に乗りたい。

**処**

ガラクタを処分して

すっきりした部屋



□ 交通事故の処理をする警官。



□ けがの応急処置をする。



□ 世の中の動きに対処する。

**就**

職に就くことを

「就職」という



□ 四月から新しい仕事に就く。



□ 社長を退任し会長に就任。



□ もう就寝の時刻です。



25

サイン

蒸

もち米を

蒸気で蒸してお餅つき



□水が蒸発して気体になった。



□混じり気の無い水が蒸留水。



□蒸気機関車に乗りたい。



26

サイン

処

ガラクタを処分して
すっきりした部屋



□交通事故の処理をする警官。



□けがの応急処置をする。



□世の中の動きに対処する。



27

サイン

就

職に就くことを
「就職」という



□四月から新しい仕事に就く。



□社長を退任し会長に就任。



□もう就寝の時刻です。



臨臨臨臨臨

臨

海に臨んだ場所にある
臨海工業地帯



心を落ち着けて試験に臨む。



台風接近で臨時休校になる。



災害現場で臨機応変に行動。



従従従従従

従

従順に指示に従う
かわいい愛犬



船長の命令に忠実に従う。



従来どおりのやり方で進める。



私はこの会社の従業員です。



恩恩恩恩恩

恩

命の恩人のおじいさんに
恩返しに来た鶴



犬は三日飼えば恩を忘れず。



恩師を招いて同窓会を開く。



豊かな森林の
恩恵を受ける。



臨

海に臨んだ場所にある



臨海工業地帯

□心を落ち着けて試験に臨む。



□台風接近で臨時休校になる。



□災害現場で臨機応変に行動。



従

従順に指示に従う

かわいい愛犬



□船長の命令に忠実に従う。



□従来どおりのやり方で進める。



□私はこの会社の従業員です。



恩

命の恩人のおじいさんに

恩返しにきた鶴つる

□犬は三日飼えば恩を忘れず。



□恩師を招いて同窓会を開く。



□豊かな森林の

恩恵けいを受ける。

31

十土土裁裁裁裁

裁

訴えや争いを
裁くことが「裁判」



服を仕立てるために布を裁つ。



洋裁教室で服の作り方を習う。



ケンカの仲裁をする。



32

ハイハイ律律

律

法律は
国の決まりです



規律を守って楽しい学校生活。



廊下は走らない

どの商品も一律百円です。



律令制度が確立した奈良時代。

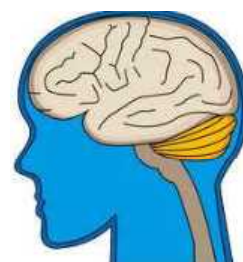


33

リ月月脳脳脳

脳

大脳と小脳から
できている脳



彼は優れた頭脳の持ち主だ。



先進国首脳が集まるサミット。



祖父が脳内出血で倒れた。



31

サイン

裁

訴えや争いを
うった

裁くことが「裁判」



□服を仕立てるために布を裁つ。



□洋裁教室で服の作り方を習う。



□ケンカの仲裁をする。



32

サイン

律

法律は

国の決まりです



□規律を守って楽しい学校生活。



□どの商品も一律百円です。



□律令制度が確立した奈良時代。



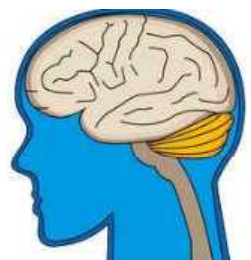
33

サイン

脳

大脳と小脳から

できている脳

□彼は優れた頭脳の持ち主だ。
かれ

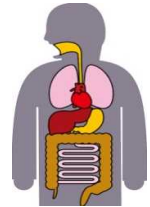
□先進国首脳が集まるサミット。

□祖父が脳内出血で倒れた。
たお

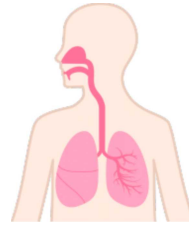
臓

心臓・肝臓など

体内の器官を「臓」という



□ 肺臓は呼吸を行う臓器です。



□ 内視鏡で内臓の様子を調べる。



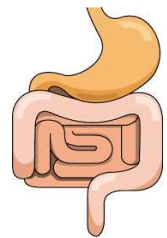
□ 臓器移植の手術が行われた。



腸

腹の中

大腸・小腸・十二指腸



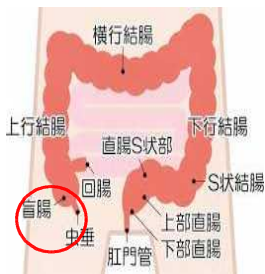
□ 胃腸が弱いので気をつける。



□ 腸で栄養を吸収する。



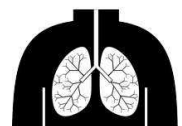
□ 盲腸の手術で入院した。



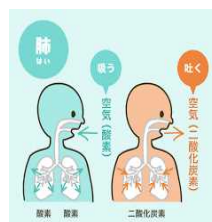
肺

胸にある

呼吸をするところが「肺臓」



□ 肺から酸素を取り入れている。



□ 肺炎にかかって入院した。



□ 健康診断で肺活量を測る。



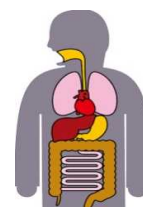
34

サイン

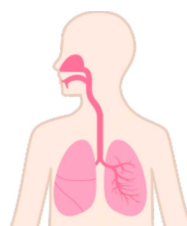
臓

心臓・肝臓^{かん}など

体内の器官を「臓」という



□肺臓は呼吸を行う臓器です。



□内視鏡で内臓の様子を調べる。



□臓器移植の手術が行われた。



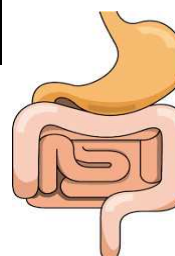
35

サイン

腸

腹の中

大腸・小腸・十二指腸



□胃腸が弱いので気をつける。



□腸で栄養を吸収する。



□盲腸^{もう}の手術で入院した。



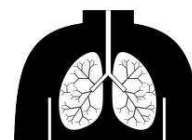
36

サイン

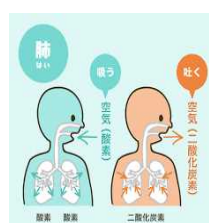
肺

胸にある

呼吸をするところが「肺臓」



□肺から酸素を取り入れている。



□肺炎^{えん}にかかって入院した。



□健康診断^{しん}で肺活量を測る。



胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い胃薬だ



□空腹で胃袋が空っぽだ。



□胃の手術をする。



□腹が痛くて胃腸薬を飲んだ。



私

私物・私服

「私」は「私」という意味



□私は生き物の世話が好きだ。



□授業中の私語は禁物だ。



□私的な用事で仕事を休む。



密

秘かに話す

二人だけの秘密



□密林の王者と呼ばれる虎。



□精密機械を安全に輸送する。



□体と心は密接に関係している。



37

胃

食べ過ぎて

ああ胃が痛い 胃薬だ



サイン

□空腹で胃袋が空っぽだ。

□胃の手術をする。

□腹が痛くて胃腸薬を飲んだ。



38

私

私物・私服

「私」は「私」という意味



サイン

□私は生き物の世話が好きだ。

□授業中の私語は禁物だ。

□私的な用事で仕事を休む。



39

密

秘かに話す

二人だけの秘密



サイン

□密林の王者と呼ばれる虎。

□精密機械を安全に輸送する。

□体と心は密接に関係している。



ハロロロ呼吸

呼

呼んでも返事が無い時は
人工呼吸を始めなさい



□ 防災を呼びかけるポスター。



□ 深呼吸をして落ち着く。



□ 候補者の名を連呼する選挙。



ハロロロ呼吸

吸

「呼吸」とは
息を吸ったり吐いたりすること



□ スポンジで水を吸い取る。



□ 植物は根から養分を吸収。



□ 吸引力が強い掃除機。



一ナオ右存存

存

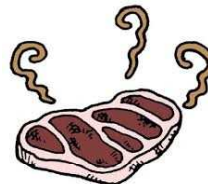
日本にも象が存在した
ことは存じております



□ 良い慣習は存続させたい。



□ 夏は食べ物の保存が難しい。



□ 存分にお召し上がりください。



呼

呼んでも返事が無い時は
人工呼吸を始めなさい



□防災を呼びかけるポスター。



□深呼吸をして落ち着く。



□候補者の名を連呼する選挙。



吸

「呼吸」とは
息を吸ったり吐いたりすること



□スポンジで水を吸い取る。



□植物は根から養分を吸収。

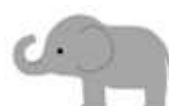


□吸引力が強い掃除機。



存

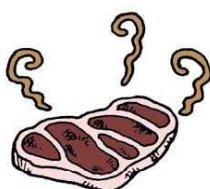
日本にも象が存在した
ことは存じております



□良い慣習は存続させたい。



□夏は食べ物の保存が難しい。



□存分にお召し上がりください。



刻

刻々と

時を刻んでいる時計



料理の手伝いで野菜を刻む。



今の時刻はちょうど正午です。



地球の温暖化は深刻な問題だ。



激

激しい流れを

激流という



急に激しい雨が降り出した。



激戦を制して勝利した。



劇的な逆転勝利に感激した。



簡

簡単な問題なので

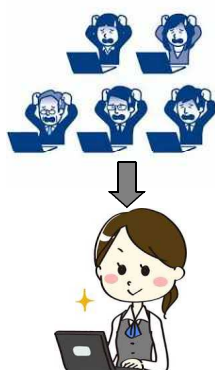
簡潔に答えなさい



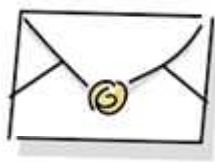
飾り気の無い簡素な結婚式。



雑多な情報を簡略化する。



手紙は書簡ともいう。



刻

刻々と

時を刻んでいる時計



サイン

□料理のお手伝いで野菜を刻む。



□今の時刻はちょうど正午です。



□地球の温暖化は深刻な問題だ。



激

激しい流れを

激流という



サイン

□急に激しい雨が降り出した。



□激戦を制して勝利した。



□劇的な逆転勝利に感激した。



簡

簡単な問題なので

簡潔に答えなさい



サイン

□飾り^{かざ}気の無い簡素な結^{こん}婚式。



□雑多な情報を簡略化する。



□手紙は書簡ともいう。



机

机つくえの上うへを机上きじょうという

□勉強机べんきょうつくえで宿題しゅくだいをする。



□机つくえの周まわりを整理せいりする。



□君きみの考かんがえは机上きじょうの空論くうろんだ。



難

難むずかしくて解決かいけつするのは困難こんなんだ

□治療ちりょうの難むずかしい難病なんびょうと闘たたかう。



□災害時さいがいじの避難場所ひなんばしょを決きめる。



□値段ねだんが高たかいのが難点なんてんだ。



疑

「それ本当ほんとう？」疑うたがわしくて半信半疑はんしんはんぎだ

□訳わけも無なく人ひとを疑うたがってはだめだ。



□疑問ぎもんに思おもったら質問しつもんしよう。



□疑心暗鬼ぎしんあんきを生しょうずる。



46

机

机の上を

机上という



□勉強机で宿題をする。



□机の周りを整理する。



□君の考えは机上の空論だ。



47

難

難しくて

解決するのは困難だ



□治療の難しい難病と闘う。



□災害時の避難場所を決める。



□値段が高いのが難点だ。



48

疑

「それ本当？」

疑わしくて半信半疑だ



□訳も無く人を疑ってはだめだ。



□疑問に思ったら質問しよう。



□疑心暗鬼を生ずる。



券

駅の券売機で

乗車券を買った



14.01.01 〇〇線 12:00
 〇〇〇-150 80 1111
 券売機に番号を
 下書き用紙に

□映画館の入場券を買う。

□バスの回数券を買う。

□電車の定期券を改札口で出す。



障

障害物競走で

一位になった



□雨音が耳障りで眠れなかった。

□機械が故障してしまった。

□停電で工事に支障が出る。



派

表千家や裏千家

茶道にいろんな流派あり



□記者を外国に派遣する。

□派手な服装をする都会の若者。

□尊敬できる立派な人。



警

警官が

「止まりなさい」と警告する



警察官が犯人を逮捕した。



暴風警報が発令された。



イエローカードで警告された。



署

消防署見学

消防士の話を聞く



駅前で署名活動をしている。



税金を徴収する税務署。



交通違反で警察署に出頭する。



銭

銭湯は

銭を払って入る風呂



小銭を出して運賃を払う。



買い物をして釣り銭をもらう。



昔使われていた古銭を集める。



52

サイン

警言

警官が

「止まりなさい」と警告する



□ 警察官が犯人を逮捕した。



□ 暴風警報が発令された。



□ イエローカードで警告された。



53

サイン

署

消防署見学

消防士の話を聞く



□ 駅前で署名活動をしている。



□ 税金を徴収する税務署。



□ 交通違反で警察署に出頭する。



54

サイン

銭

銭湯は

銭を払って入る風呂



□ 小銭を出して運賃を払う。



□ 買い物をして釣り銭をもらう。



□ 昔使われていた古銭を集める。



勤

会社に勤めるお父さん
毎日電車で通勤する



兄は建設会社に勤務している。



労働に感謝する勤労感謝の日。



勤務時間が短いパート労働者。



諸

諸国・諸島

「諸」は「多くの」という意味



諸国を旅して見聞を広める。



沖縄諸島を旅行する。



邪馬台国については諸説ある。



供

お盆には

お供え飾り 先祖を供養



一つ下さい、お供します。



食品メーカー提供の番組。



電気を供給する電力会社。



勤

会社に勤めるお父さん
毎日電車で通勤する



兄は建設会社に勤務している。



労働に感謝する勤労感謝の日。



勤務時間が短いパート労働者。



諸

諸国・諸島

「諸」は「多くの」という意味



諸国を旅して見聞を広める。



沖縄諸島を旅行する。



邪馬台国については諸説ある。



佐賀県 吉野ヶ里町 吉野ヶ里遺跡



供

お盆には

お供え飾り 先祖を供養



一つ下さい、お供します。



食品メーカー提供の番組。



電気を供給する電力会社。



一
四
七
八

収

二桁勝利を収めて

収入が倍増した選手



□ 劇げきの公演こうえんで成功せいこうを収おさめる。

□古新聞を資源回収に出す。

□切手きってを収集しゅうしゅうするのが趣味しゅみです。



ノ糸糸糸糸糸

納

税金を納めることが「納税」

品物を納めることが「納品」



□ 冬服を収納ケースに収める。

□相手の話を聞いて納得する。

□ 出納帳を付けてお金の管理。



木杓杓枚

枚

五枚ごまいずつ

同じ枚数
トランプ配る



□記念写真を四枚撮った。

□ 配^{くば}る紙^{かみ}の枚^{まい}数^{すう}を数^{かぞ}える。

□ 大枚の金をはたいて車を買う。



収

二桁勝利^{けた}を収めて

収入が倍增した選手



□劇の公演で成功を収める。



□古新聞を資源回収に出す。

□切手を収集するのが趣味^{しゅみ}です。

納

税金を納めることが「納税」

品物を納めることが「納品」



□冬服を収納ケースに収める。



□相手の話を聞いて納得する。



□出納帳を付けてお金の管理。



枚

五枚ずつ

同じ枚数
トランプ配る□記念写真を四枚撮^とった。

□配る紙の枚数を数える。



□大枚の金をはたいて車を買う。



染

「染色」とは

ぬの
布や糸を染めること

□ 夕焼けで西の空が赤く染まる。



□ 昔は染料に野草を使っていた。



□ 排気ガスで大気が汚染される。



宣

高校野球

おお
大きな声で選手宣誓

□ テレビで宣伝中の新型自動車。



□ 運動会の開会を宣言する。



□ 裁判で有罪を宣告する。



暮

日が暮れて

あた
辺りは暮色に包まれた

□ 毎日楽しく暮らしている。



□ 困ってしまい途方に暮れる。



□ 年の暮れにお歳暮をもらう。



61

染

「染色」とは

布や糸を染めること



サイン

□夕焼けで西の空が赤く染まる。



□昔は染料に野草を使っていた。



□排気ガスで大気が汚染される。



62

宣

高校野球

大きな声で選手宣誓



サイン

□テレビで宣伝中の新型自動車。



□運動会の開会を宣言する。



□裁判で有罪を宣告する。



63

暮

日が暮れて

辺りは暮色に包まれた



サイン

□毎日楽しく暮らしている。



□困ってしまい途方に暮れる。



□年の暮れにお歳暮をもらう。



探

名探偵
めいたんてい手がかり探って事件を解決
て さぐ じけん かいけつ

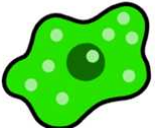
□ 宝物を探し求める。
たからもの さが もと



□ ヒマラヤの奥地を探検する。
おくち たんけん



□ 生命の起源を探究する。
せいめい きげん たんきゅう



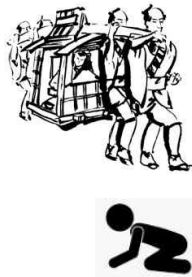
座

座布団に
ざぶとん正座で座って足がしびれた
せいざ すわ あし

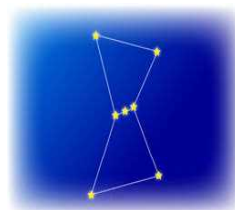
□ バスの座席に座る。
ざせき すわ



□ 殿様の行列に土下座する。
とのさま ぎやうれつ ど げざ



□ 冬の夜空に輝く星座オリオン。
ふゆ よぞら かがや せいざ



幼

幼稚園
ようちえん幼い幼児が通います
おきな ようじ かよ

□ 幼い頃から顔なじみの同級生。
おきな こう かお どうきゅうせい



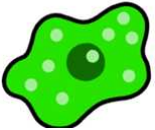
□ 幼虫からさなぎになった。
ようちゅう さなぎ



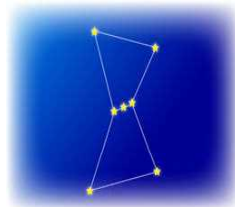
□ 自分の幼少期の写真を見る。
じぶん ようしょうき しゃしん み



探

名探偵^{てい}手がかり探^{たん}って事件を解決□宝^{たから}物を探^{たん}し求^{もと}める。□ヒマラヤの奥^{おく}地^ちを探^{たん}検^{けん}する。□生^{せい}命^{めい}の起^き源^{げん}を探^{たん}究^{きゅう}する。

座

座布団^{ざふだん}に正座^{せいざ}で座^まって足^{あし}がしびれた□バスの座席^{ざせき}に座^まる。□殿^{との}様の行^{ぎょう}列^{りゃく}に土下座^{どげざ}する。□冬^{ふゆ}の夜^よ空^{から}に輝^{かがや}く星^{せい}座^ざオリオン。

幼

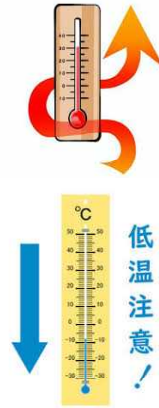
幼稚園^ち幼^{よう}い幼^{よう}児^にが通^{とほ}います□幼^{こう}い頃^{ころ}から顔^{かお}なじみの同^{どう}級^{きゅう}生^{せい}。□幼^{よう}虫^{ちゅう}からさなぎにな^なった。□自^{みづか}分の幼^{よう}少^{しょう}期^きの写^{しゃ}真^{しん}を見^みる。

著

著しい本の売れ行き
著者の人気も高まる



気温の変化が著しい。



児童文学で著名な新美南吉。



書物の無断引用は著作権違反。



権

「人権」は
人が人らしく生きる権利



大きな権力を手にした藤原氏。



藤原道長

貴族は平安時代の特権階級。



議長の権限で発言を許可する。



尊

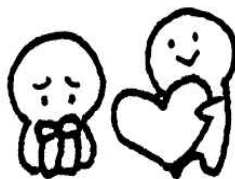
人を尊いものとして
敬うことが「尊敬」



祖先を尊ぶお盆の風習。



相手の自尊心を傷つけない。



少数意見も尊重しよう。



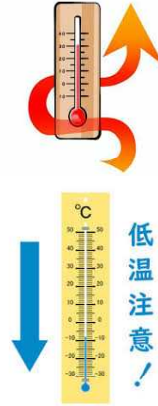
著

著しい本の売れ行き

著者の人気も高まる



□ 気温の変化が著しい。

□ 児童文学で著名な新美南吉^{きち}。□ 書物の無断引用は著作権違反^い。

権

「人権」は

人が人らしく生きる権利

□ 大きな権力を手にした藤原氏^{ふじ}。

藤原道長

□ 貴族は平安時代の特権階級。



□ 議長の権限で発言を許可する。



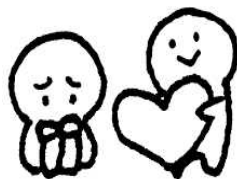
尊

人を尊いものとして

敬うことが「尊敬」

□ 祖先を尊ぶお盆^{ぼん}の風習。

□ 相手の自尊心を傷つけない。



□ 少数意見も尊重しよう。



庁

県庁・警視庁
けんちよう けいしちよう「庁」は「役所」という意味だ
ちよう やくしよ いみ

□ 滋賀県の県庁は、大津市にある。



滋賀県

□ 気象庁の天気予報を聞く。



□ 市役所の庁舎が改築された。



装

服装を
ふくそう夏の装いにする
なつ よそお「衣替え」
ころも が

□ 装いも新たに新装開店。



□ 装備を調べて冬山に登る。



□ 風力発電の装置を作る。



届

落とし物を
お もの交番に届ける
こうばん とど

□ 注文品を配達先に届ける。



□ 痒い所に手が届く。



□ 学校に欠席届を提出する。

欠席届 FAX 送信票

受信者：〇〇小学校 TEL XXXXXXX FAX XXXXXX

XX年XX月XX日

●●●組 児童氏名 ●●●●

保護者氏名 ●●●●



70

サイン

庁

県庁・警視庁

「庁」は「役所」という意味だ


☐ 滋賀県の県庁は大津市にある。


滋賀県

☐ 気象庁の天気予報を聞く。

☐ 市役所の庁舎が改築された。


71

サイン

装

服装を

夏の装いにする

「衣替え」
が
☐ 装いも新たに新装開店。

☐ 装備を調べて冬山に登る。

☐ 風力発電の装置を作る。


72

サイン

届

落とし物を

交番に届ける


☐ 注文品を配達先に届ける。

☐ 痒い所に手が届く。

☐ 学校に欠席届を提出する。

欠席届 FAX 送信票

受信者：〇〇小学校 TEL XXXXXXX FAX XXXXXX

XX年XX月XX日

●年●組 児童氏名 ●●●●

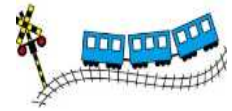
保護者氏名 ●●××



浴

沿道・沿岸
えんどう えんがん

「浴」は流れに浴うこと
えん なが そ



□ 目的や話題に沿って話し合う。
もくてき わだい そ はな あ



□ 鉄道沿線の美しい景色。
てつどう えんせん うつく けしき



□ 沿道で旗を振る応援の人々。
えんどう はた ふ おうえん ひとびと



冊

一冊・二冊
いっさつ にさつ

「冊」は「書物・本」のこと
さつ しょもつ ほん



□ 月に平均五冊の本を読む。
つき へいきん ごさつ ほん よ



□ 別冊の付録が面白い。
べっさつ ふろく おもしろ



□ 作文を集めて冊子にする。
さくぶん あつ さっし



宇

宇宙ロケット
うちゅう ロケット

乗ってみたい火星まで
の かせい



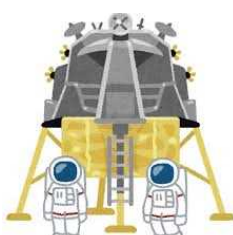
□ 宇宙飛行士になりたい。
うちゅう ひこうし



□ 宇宙旅行も夢ではない。
うちゅう りょこう ゆめ



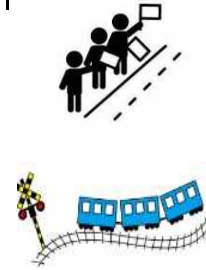
□ 宇宙開発が進みつつある。
うちゅう かい はつ す



沿

沿道・沿岸

「沿」は流れに沿うこと



□ 目的や話題に沿って話し合う。



□ 鉄道沿線の美しい景色。



□ 沿道で旗を振る応援の人々。



冊

一冊・二冊

「冊」は「書物・本」のこと



□ 月に平均五冊の本を読む。



□ 別冊の付録が面白い。



□ 作文を集めて冊子にする。



宇

宇宙ロケット

乗ってみたい火星まで



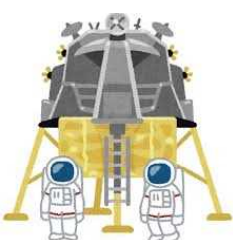
□ 宇宙飛行士になりたい。



□ 宇宙旅行も夢ではない。



□ 宇宙開発が進みつつある。

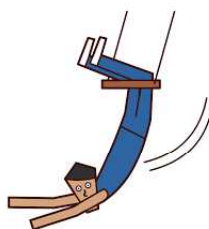


宙

軽やかに宙返りする
体操選手



宙づりで演技するサーカス。



宇宙開発計画を推進する。



暗黒の宇宙空間。



俳

俳句とは
五七五の短い詩



俳句には季語を必ず入れる。

ふるいけや
かわずとびこむみずのおと
「季語「かわず(カエル)」春」

有名な俳人の松尾芭蕉。



私の大好きな映画俳優。



誤

書き誤りを
誤字という

成積



進む方向を誤り、道に迷う。



説明不足で友達に誤解された。



ネットの情報は誤報に注意。



宙

軽やかに宙返りする
体操選手



宙づりで演技するサーカス。



宇宙開発計画を推進する。



暗黒の宇宙空間。



俳

俳句とは
五七五の短い詩



俳句には季語を必ず入れる。

ふるいけや
かわずとびこむみずのおと
「季語「かわず(カエル)」春」

有名な俳人の松尾芭蕉。
お ば し ょ う



私の大好きな映画俳優。



誤

書き誤りを
誤字という

成 ~~積~~
せい ~~せき~~



進む方向を誤り、道に迷う。



説明不足で友達に誤解された。



ネットの情報は誤報に注意。



暮

日が暮れて

辺りは暮色に包まれた



□毎日楽しく暮らしている。



□困ってしまい途方に暮れる。



□年の暮れにお歳暮をもらう。



晩

朝から晩まで

研究に没頭する科学者



□家族みんなで楽しく晩ご飯。



□毎晩天体観測をした。



□晩秋に見られる紅葉。



模

大規模な

平城京の

復元模型



□模造紙でポスターを作る。



□水玉模様のワンピースを着る。



□これは本物でなく模造品だ。



窓

車窓から眺める

窓の外の景色



□窓^{まど}ガラスを割^わってしまった。



□銀行の窓口に通帳を出す。



□卒業後に同窓会を開いた。



延

決^きめてあつた日^ひを

先に延ばすことが「延期」



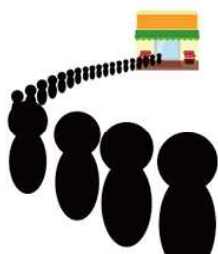
□雨あめで運動会うんどうかいが一日いちにち延のびた。



□試合が延長戦に入った。



□ 延々と続く長蛇の列。



論

長時間論じ合い

やっと結論が出た



□相手の意見に異論を唱える。



□こうろん論をやめ、冷静れいせいに話し合はなう。



□ 論理的な説明で分かりやすい。



窓

車窓から眺める^{なが}

窓の外の景色



□窓ガラスを割ってしまった。



□銀行の窓口に通帳を出す。



□卒業後に同窓会を開いた。



延

決めてあった日を

先に延ばすことが「延期」



□雨で運動会が一日延びた。



□試合が延長戦に入った。



□延々と続く長蛇の列^だ。



論

長時間論じ合い

やっと結論が出た



□相手の意見に異論を唱える。



□口論をやめ、冷静に話し合う。



□論理的な説明で分かりやすい。



Ⅰ学期の漢字

たしかめ Ⅰ

5	4	3	2	1
並	段	腹	砂	視
並列に電池を並べ豆電球を点灯させる。	安い値段で原料を買う。	腹が痛い。腹痛だ。	砂鉄は砂の中に混じっている鉄。	視点を変えて考え直す。

たしかめ Ⅱ

10	9	8	7	6
純	異	洗	認	降
単純明快な説明でよく分かる。	常と異なることだから「異常」。	汚れた衣類を洗う機械が洗濯機。	「認可」とは、願いを認めて許すこと。	電車を降りたら雨が降っていた。

たしかめ Ⅲ

15	14	13	12	11
乱	舌	捨	背	射
乱雑な使い方をしして部屋が乱れる。	失敗し、思わず舌を出す。	四以下は捨て、五以上は切り上げる四捨五入。	背中からバーを跳び越す背面跳び。	射程距離に入った獲物を矢で射る。

たしかめ Ⅳ

20	19	18	17	16
展	拡	映	誌	域
夏休みの作品を展示する。	道路を拡張する工事。	映像をスクリーンに映すから「映画」。	雑誌の付録が楽しみだ。	私の学校の通学区域は広い。

たしかめ 1

1	してんをかえて かんがえなおす。
2	さてつはすなの なかに まじっている てつ。
3	はらが 痛い。ふく痛だ。
4	やすい 値だんで げんりようを かう。
5	へいれつに でんちを ならべ まめでんきゆうを てんとうさせる。

たしかめ 2

6	でんしゃを おりたら あめが ふっていた。
7	「にんか」とは、ねがいを みとめて ゆるすこと。
8	汚れた いるいを あらう きかいが せん濯き。
9	つねと ことなる ことだから 「いじよう」。
10	たんじゅんめいかいな せつめいで よく わかる。

たしかめ 3

11	しゃてい距離にはいった 獲ものを やでいる。
12	せなかから バーを 跳び越す はいめん跳び。
13	よんいかは すて、ごいじようは きりあげる ししやごにゆう。
14	しっぱいし、おもわず したを だす。
15	らんざつな つかいかたをして へやが みだれる。

たしかめ 4

16	私のがつこうの つうがくいきは ひろい。
17	ざっしの ふろくが たのしみだ。
18	えいぞうを スクリーンに うつつから 「えいが」。
19	どうろを かくちようする こうじ。
20	なつやすみの さくひんを てんじする。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
蒸	承	我	訪	蔵
もち米を蒸気で蒸してお餅つき。	「その件、承りました。」と承諾した。	夢から覚め、我に返る。	訪日した大統領が原爆資料館を訪れた。	蔵の中に秘蔵していた宝物。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
恩	従	臨	就	処
犬は三日飼えば恩を忘れず。	従順に指示に従うかわいい愛犬。	海に臨む場所にある臨海工業地帯。	職に就くことを「就職」という。	交通事故の処理をする警官。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
腸	臓	脳	律	裁
腸で栄養を吸収する。	内視鏡で内臓の様子を調べる。	大脳と小脳からできている脳。	規律を守って楽しい学校生活。	訴えや争いを裁くことが「裁判」。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
呼	密	私	胃	肺
呼んでも返事が無い。人工呼吸を始める。	体と心は密接に関係している。	私は生き物の世話が好きだ。	食べ過ぎて胃が痛い。胃薬を飲む。	肺から酸素を取り入れている。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
もちごめをじょうきでむしてお餅つき。	「そのけん、うけたまわりました。」としょう諾した。	ゆめからさめ、われにかえる。	ほうにちしただいとうりようがげん爆しりようか んをおとずれた。	くらのなかに秘ぞうしていた宝もの。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
いぬはみつかかえばおんを忘れず。	じゅうじゅんにしじにしたがうかわいい あいけん。	うみにのぞむばしよにある りんかいこうぎようちたい。	しよくにつくことを「しゅうしよく」という。	こうつうじこのしよりをする警かん。

たしかめ 7

35	34	33	32	31
ちようでえいようを吸収する。	ないしきようでないぞうのようすをしらべる。	だいのうとしようのうからできているのう。	きりつをまもってたのしいがつこうせいかつ。	訴えやあらそいをさばくことが「さいばん」。

たしかめ 8

40	39	38	37	36
よんでもへんじがない。じんこうこ吸を はじめ。	からだところはみっせつにかんけいしている。	わたしはいきもののせわがすきだ。	たべすぎていが痛い。いぐすりのをむ。	はいからさんそをとりにれている。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
簡	激	刻	存	吸
雑多な情報を簡略化する。	激しい流れを激流という。	地球の温暖化は深刻な問題だ。	日本にも象が存在していた。	息を吸ったり吐いたりする「呼吸」。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
障	券	疑	難	机
停電で工事に支障が出る。	映画館の入場券を買う。	「それ本当?」、疑わしくて半信半疑だ。	難しくて解決するのは困難だ。	机の周りを整理する。

たしかめ 11

55	54	53	52	51
勤	銭	署	警	派
会社に勤める父は電車で通勤する。	銭湯は、銭を払って入る風呂。	税金を徴収する税務署。	暴風警報が発令された。	表千家や裏千家は茶道の流派。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
枚	納	収	供	諸
配る紙の枚数を数える。	税金を納めることが「納税」。	二桁勝利を収め、収入が倍増した選手	食品メーカー提供の番組。	諸国を旅して見聞を広める。

たしかめ 9

45	44	43	42	41
ざったな	はげしい	ちきゅうの	にほんにも	いきを
じょうほうを	ながれを	おん暖 ^{だん} かは	ぞうが	すったり
かんりやくかする。	げきりゆうという。	しんこな	そんざいしていた。	吐 ^は いたりする
		もんだいだ。		「こきゅう」。

たしかめ 10

50	49	48	47	46
ていでんで	えいがかの	「それ	むずかしくて	つくえの
こうじに	の	ほんとう?」	かいけつするの	まわりを
ししょうが	にゆうじようけんを	うたがわしくて	は	せいりする。
でる。	かう。	はんしんはんぎだ。	困 ^{こん} なんだ。	

たしかめ 11

55	54	53	52	51
かいしゃに	せんとうは、	ぜいきんを	ぼうふうけい	おもて
つとめる	ぜいを	徴収 ^{ちやうしゆう} する	ほうが	せんけや
ちちは	払 ^{はら} っては	ぜいむしよ。	はつれい	裏 ^{うら} せんけは
でんしゃで	いる		された。	さどうの
	ふ呂 ^ろ 。			りゆうは。

たしかめ 12

60	59	58	57	56
くばる	ぜいきんを	ふた桁 ^{けた} し	しよくひん	しよくを
かみの	おさめる	しょうりを	メーカー	たびして
まいすうを	ことが	おさめ、	ていきようの	けんぶんを
かぞえる。	「のうぜい」。	しゆうに	ばんぐみ。	ひろめる。
		ゆうが		
		ばいぞうした		
		せんしゆ。		

たしかめ

13

65	64	63	62	61
座	探	暮	宣	染
バスの座席に座る。	宝物を探し求める。	毎日楽しく暮らしている。	テレビで宣伝中の新型自動車。	「染色」とは、布や糸を染めること。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
庁	尊	権	著	幼
気象庁の天気予報を聞く。	人を尊いものとして敬うことが「尊敬」。	「人権」は、人が人らしく生きる権利。	著者の人気で著しい本の売れ行き。	幼稚園は、幼い幼児が通います。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
宇	冊	沿	届	装
宇宙旅行も夢ではない。	月に平均五冊の本を読む。	目的や話題に沿って話し合う。	注文品を配達先に届ける。	装いも新たに新装開店。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
晩	幕	誤	俳	宙
朝から晩まで研究に没頭する科学者。	幕を張った中に將軍がいたので幕府。	書き誤りを誤字という。	俳句には季語を必ず入れる。	軽やかに宙返りする体操選手。

たしかめ

13

65	64	63	62	61
バスのざせきにすわる。	宝 ^{たから} ものをさがしもとめる。	まいにち たのしくくらししている。	テレビで せんでんちゅうの しんがたじどうしゃ。	「せんしよく」とは、ぬのやいとを そめること。

たしかめ

14

70	69	68	67	66
きしようにちようの てんきよほうを きく。	ひとを ^{けい} とうとい ものとして 敬 ^{うやま} うことが 「そん敬」。	「じんけん」は、ひとがひとらしくいきる けんり。	ちよしやの にんきで いちじるしい ほんの うれゆき。	よう稚 ^ち えんは、おさない ようじが かよいます。

たしかめ

15

75	74	73	72	71
う宙 ^{ちゆう} りよこうも ゆめではない。	つきにへいきん ござつの ほんを よむ。	もくてきや わだいに そつて はなしあう。	ちゅうもんひんを はいたつききに とどける。	よそおいも あらたに しんそうかいてん。

たしかめ

16

80	79	78	77	76
あさから ばんまで けんきゅうに 没 ^{ぼつ} とうする かがくしゃ。	まくを はった なかに 将 ^{しょう} ぐんが いたので ばくふ。	かきあやまりを ごじ という。	はいくには きごを かならず いれる。	かるやかに ちゅうがえりする たい操 ^{そう} せんしゆ。

84	83	82	81
論	延	窓	模
口論をやめ、冷静に話し合う。	予定日を先に延ばすことが「延期」。	車窓から眺 ^{なが} める窓の外の景色。	大規模な平城京の復元模型。

84	83	82	81
こうろんをやめ、れいせいにはなしあう。	よていびをさきにのばすことが「えんき」。	しゃそうから眺 ^{なが} めるまどのそとのけしき。	だいきぼなへいじようきようのふくげんもけい。

6年生で習う漢字

1	視	31	裁	61	染	91	優	121	欲	151	亡	181	補
2	砂	32	律	62	宣	92	推	122	株	152	干	182	担
3	腹	33	脳	63	暮	93	貴	123	善	153	衆	183	姿
4	段	34	臓	64	探	94	策	124	班	154	郵	184	討
5	並	35	腸	65	座	95	縮	125	危	155	賃	185	専
6	降	36	肺	66	幼	96	棒	126	割	156	孝	186	潮
7	認	37	胃	67	著	97	熟	127	否	157	預	187	針
8	洗	38	私	68	権	98	尺	128	至	158	穀	188	穴
9	異	39	密	69	尊	99	寸	129	宅	159	俵	189	灰
10	純	40	呼	70	庁	100	揮	130	糖	160	沢	190	奮
11	射	41	吸	71	装	101	痛	131	紅	161	忘	191	済
12	背	42	存	72	届	102	批	132	卵	162	暖		
13	捨	43	刻	73	沿	103	傷	133	乳	163	詞		
14	舌	44	激	74	冊	104	若	134	創	164	朗		
15	乱	45	簡	75	宇	105	閉	135	奏	165	胸		
16	域	46	机	76	宙	106	遺	136	誕	166	片		
17	誌	47	難	77	俳	107	翌	137	困	167	劇		
18	映	48	疑	78	誤	108	縦	138	看	168	将		
19	拡	49	券	79	幕	109	頂	139	筋	169	皇		
20	展	50	障	80	晩	110	忠	140	盛	170	后		
21	蔵	51	派	81	模	111	誠	141	骨	171	陛		
22	訪	52	警	82	窓	112	敵	142	巻	172	憲		
23	我	53	署	83	延	113	蚕	143	宝	173	党		
24	承	54	銭	84	論	114	己	144	郷	174	閣		
25	蒸	55	勤	85	樹	115	除	145	敬	175	革		
26	処	56	諸	86	覧	116	仁	146	秘	176	宗		
27	就	57	供	87	値	117	泉	147	聖	177	垂		
28	臨	58	収	88	源	118	裏	148	絹	178	層		
29	従	59	納	89	退	119	系	149	拝	179	磁		
30	恩	60	枚	90	厳	120	盟	150	鋼	180	操		